

正誤表

アニュアルレポート2011の掲載内容に誤りがありました。

謹んでお詫びし、訂正いたします。

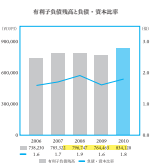
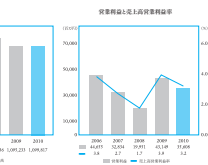
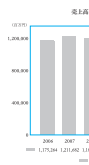
ページ	誤	正
6	784,333	796,747
	762,899	764,463
	3.9	4.0
7	832,347	834,120
	10,028,277	10,049,639
	26.3	25.9
	784,333	796,747
25	762,899	764,463
	832,347	834,120
	8,323	8,341
	694	697
63	784,333	796,747
	762,899	764,463
	832,347	834,120
	10,028,277	10,049,639
	42.53	42.13
65	3.9	4.0
	784,333	796,747
	762,899	764,463
	832,347	834,120
	3.9	4.0
	9.3	9.5

連結財務ハイライト

株式会社日本製紙グループ本社

	6/30		3/31	
	2009年度	2010年度	2009年度	2010年度
売上高	9,138,136	9,089,213	8,881,120	9,179,889
営業利益	19,071	41,189	35,088	42,882
経常利益	17,864	37,507	32,389	38,753
当期純利益（損失）	(24,100)	30,070	(24,172)	(29,229)
勘定資産	1,492,627	1,599,246	1,589,792	1,862,213
勘定負債	684,311	479,479	496,782	454,649
有利子負債残高 ¹⁾	796,747	764,463	834,120	10,697,639
基本的一括当り当期純利益（損失） ²⁾	(26)	244.03	(268.75)	(2.51)
一掃当り純当金 ³⁾	69.00	69.00	69.00	67.52
売上高営業利益率（%）	1.7	3.9	3.2	
自己資本当期純利益（損失）率（ROE）（%） ⁴⁾	(1.6)	1.8	(1.6)	
自己資本当期純利益（損失）率（ROIC）（%） ⁵⁾	3.4	3.8	3.5	
自己資本比率（%）	27.0	30.4	29.9	
総資産利益率（ROA）（%） ⁶⁾	1.9	2.7	2.7	
従業員数（人）	13,089	14,239	13,484	

注1. 有利子負債は全額繰上償還金に充当し、繰上償還金に充当しなかった有利子負債は繰上償還金に充当していません。
 注2. 有利子負債は、外国債と日本債とを区別していません。
 注3. 2009年度有利子負債残高は有利子負債残高に充当されています。
 注4. 自己資本は当期純利益に当期純損失を加えた金額を指し、自己資本比率は自己資本を総資産に占める割合を指します。
 注5. 自己資本は当期純利益に当期純損失を加えた金額を指し、自己資本比率は自己資本を総資産に占める割合を指します。
 注6. 総資産利益率は、当期純利益を総資産に占める割合を指します。



Q4 海外事業の進捗についてはいかがでしょうか。 展開によって見直すのでしょうか。

方針は全く変わりません。「グループビジョン2015」で掲げた世界トップ5入りを実現するには、国内事業における安定した収益と海外における本格的な事業成長を実現させることが不可欠です。オーストラリアペーパー社の高収益化や水巻造紙施設、理文産紙有限会社との提携をより深化させ、生産と消費の中心であるアジア・オセアニア地域の成長を今後の利益成長に結び付けていきます。

海外事業

理文産紙

新設工場：中国4拠点
 生産能力：455万t/年



水巻紙ケイマン

投資元金工場：台湾12・台湾5・ 베트남3拠点
 生産能力：1410万t/年
 新設工場：中国1・台湾2拠点
 生産能力：110万t/年



オーストラリアンペーパー

新・新設工場：オーストラリア2拠点
 生産能力：59万t/年



Q5 グループビジョン2015に向けての考え方。 第3次中期経営計画との関係についてお聞かせください。

グループビジョン2015で掲げている目標に即応するため、第3次中期の目標数値である2011年度営業利益550億円の達成は残念ながら難しくなっていますが、「国内事業80%へのダウンサイジング」「海外市場での事業成長の促進」「資源調達戦略の最適化」「グループの機動力強化と経営効率化」「新設事業の閉鎖」といった5つのテーマでグループビジョン達成に向けたステップアップです。中期復興計画(国内)詳細計画について必要な軌道修正をいたしました。

Q6 今後の資本政策についてはどのようにお考えですか。

震災復興需要に備え、早くも現金を確保したため、2011年3月末の有利子負債残高は8381億円と前年比で4割増しが増加し、D/Eレシオも高くなりました。
 今後はキャッシュフローを借入金の返済に優先的に充当することを基本にバランスシートの改善を図ります。第3次中期経営計画で目標とするD/Eレシオ1.5倍は、2013年度末までに達成したいと考えています。

年度末時点の有利子負債、D/Eレシオ

